



東京文化発信プロジェクト

世代をこえて、広がる感動。東京から発信する伝統文化。

東京発・伝統WA感動

TOKYO TRADITIONAL ARTS PROGRAM

PRESS RELEASE

平成 24 年 4 月 9 日

開催にあたって

「東京発・伝統WA感動」は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が展開する「東京文化発信プロジェクト」の一環として、能楽、邦楽、日本舞踊、茶道など、世界に誇るべき日本の伝統芸能・文化を国内外へ広く発信するとともに、次世代へ継承していくことを目的として実施してまいりました。

東日本大震災から1年。震災後の新しい社会のあり方について伝統芸能、芸術文化が持つ可能性とその力をどのように生かしていくのかを新たに提案すべく、多彩なプログラムを提供してまいります。

今年度も、一年を通じ、世代をこえて多くの方々にご参加いただけるよう、大きく3つの構成にて実施いたします。

「キッズ伝統芸能体験」は、子供たちが7か月間にわたって、一流の芸術家から能楽や日本舞踊などの伝統芸能を学んで、ひのき舞台上で発表する本格的な体験プログラムです。今年度も都立高校におけるプログラムの実施を予定しています。

「伝統芸能公演」では、メイン公演として「三弦 海を越えて アジアから日本へ」(仮)と題し、中国やモンゴルなどからも演奏家を招き、アジアに広がる三弦と、日本の三味線音楽の多彩な魅力をご覧ください。また、歌舞伎俳優・十代目坂東三津五郎氏の解説による日本舞踊ワークショップや、落語、舞踊などの本格的な公演のほか、今年度は新たに、伝統の魅力をアニメーションや現代音楽などのユニークな切り口で紹介するトークと実演、ワークショップなども実施いたします。

また「東京大茶会」では、和の心・茶の心を、都民をはじめ東京を訪れる外国人や多くの方に楽しんでいただきます。

伝統芸能・文化は、日本人が自然と向き合い、共生し、人の和を大切にしながら長い時間をかけて育んできた財産です。さまざまな分野の事業を通して、日本人の根底にある「和の心」を今改めて感じていただけるよう、更なる普及と継承に努めてまいります。

< 東京文化発信プロジェクトとは >

東京文化発信プロジェクトは、「世界的な文化創造都市・東京」の実現に向けて、東京都と東京都歴史文化財団が芸術文化団体やアートNPO等と協力して実施しているプロジェクトです。都内各地での文化創造拠点の形成や子供・青少年への創造体験の機会の提供により、多くの人々が新たな文化の創造に主体的に関わる環境を整えるとともに、国際フェスティバルの開催等を通じて、新たな東京文化を創造し、世界に向けて発信していきます。

開催概要

名称

東京発・伝統 WA 感動
キッズ伝統芸能体験

参加者募集期間	平成 24 年 7 月 1 日(日)~7 月 31 日(火)
お試し体験・見学会	平成 24 年 7 月 21 日(土)、22 日(日) / 芸能花伝舎
開講式	平成 24 年 9 月 23 日(日) / 国立能楽堂
能楽発表会	平成 25 年 3 月 20 日(祝・水) / 宝生能楽堂
日本舞踊・箏曲・長唄発表会	平成 25 年 3 月下旬(予定) / 浅草公会堂

伝統芸能公演

○主催公演

- 1、三弦 海を越えて アジアから日本へ (仮)
平成 24 年 10 月 11 日(木) / 東京芸術劇場コンサートホール
- 2、解説と実演で知る <日本舞踊と邦楽の世界> (仮)
 - ・坂東三津五郎 歌舞伎でわかる江戸の粋
平成 24 年 7 月 3 日(火) / 江戸東京博物館ホール
 - ・坂東三津五郎がひもとく“日本舞踊”
平成 24 年 7 月 21 日(土) / 江戸東京博物館ホール
 - ・はじめての邦楽 江戸の響きを体感しよう! (仮)
平成 24 年 11 月 4 日(日) / 江戸東京博物館ホール
- 3、大江戸寄席と花街のおどり Part 2 (仮)
平成 24 年 8 月 19 日(日) / 有楽町朝日ホール
- 4、和の魅力発見シリーズ
「Traditional + (トラディショナル プラス)」
 - ・現代に生きる日本の伝統楽器 トークと実演
平成 24 年 9 月 9 日(日) / スパイラルホール
 - ・LIVE アニメーションと浪曲 映画上映、トークと実演
平成 24 年 10 月 23 日(火) / 東京都写真美術館 1 階ホール
 - ・「百人一首」に遊ぶ ワークショップ
平成 25 年 1 月中旬開催予定 / スパイラルホール

○共催公演

- 1、国立劇場 5 月舞踊公演 菅原草紙 舞踊『菅原伝授手習鑑』
平成 24 年 5 月 25 日(金)・26 日(土) / 国立劇場大劇場
- 2、芸の真髄シリーズ 第 6 回 江戸ゆかりの家の芸
平成 24 年 8 月 22 日(水) / 国立劇場大劇場
- 3、民俗芸能「第 13 回多摩川流域郷土芸能フェスティバル」
平成 24 年 12 月 2 日(日) / 狛江エコルマホール

東京大茶会 2012

- 1、江戸東京たてもの園
平成 24 年 10 月 7 日(日)・8 日(月・祝)
- 2、浜離宮恩賜庭園
平成 24 年 10 月 13 日(土)・14 日(日)

主催 東京都、東京文化発信プロジェクト室（公益財団法人東京都歴史文化財団）、
東京発・伝統WA感動実行委員会
東京発・伝統WA感動実行委員会構成団体
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会、独立行政法人日本芸術文化振興会、NHKエンタープライズ

お問合せ 開催に関するお問い合わせ・取材のお申込
東京発・伝統WA感動実行委員会事務局 星野、田中まで
〒150-0047 東京都渋谷区神山町5番20号 神山町小川ビル3階
Tel：03-3467-5421 Fax：03-3467-5422 E-mail：info@dento-wa.jp
「東京発・伝統WA感動」ホームページ：<http://www.dento-wa.jp>
「キッズ伝統芸能体験」に関するお問い合わせ先
公益社団法人日本芸能実演家団体協議会
「キッズ伝統芸能体験」事務局 Tel.03-5909-3060

キッズ伝統芸能体験

本物との出会いが、子供の心を育てる。人気の“和のお稽古”プログラム

興味はあるけど、何となく敷居が高いと捉えられがちな伝統芸能の世界。子供には体験させたい。そう願う大人が増えています。けれども、体験ワークショップの多くは短期の単発イベントに留まり、特に子供達を対象に、一定期間にわたって、信頼の置ける良質な体験の場を提供するプログラムは圧倒的に不足しています。

こうしたニーズに応えるのが「キッズ伝統芸能体験」。約7か月間にわたって、さまざまな分野のプロの芸術家が子供達を直接指導し、本格的な舞台でその成果を発表します。

プロの姿を間近に感じながら定期的に稽古を重ねる過程で、技術だけでなく、礼儀作法や厳しさも自然と身につきます。ひのき舞台での発表は、目的意識の大切さや達成感を体験する仕掛け。異なる分野で稽古をした子供達が同じ舞台に立つことから、伝統芸能の多彩さや奥の深さに気づくこととなります。

このプログラムの大きな目的は、子供達だけではなく、家庭や学校、さらに地域で、伝統への関心を高めながら次世代へ継承し、東京の文化的魅力を深めていくこと。保護者や参加者からも、「これほどとは思ってもみなかった」「参加して本当に良かった」「もっとお稽古したい」と感動の声が相次いでいます。

また、過去4年間の経験を活かし、より幅広い層に対する伝統芸能の普及のため、都立高校におけるプログラムも引き続き実施する予定です。

【企画・制作・運営】公益社団法人日本芸能実演家団体協議会

【協力】公益社団法人能楽協会、公益社団法人日本舞踊協会、公益社団法人日本三曲協会、
一般社団法人長唄協会

【ジャンル】能楽、日本舞踊、三曲(箏曲)、長唄(三味線、囃子)の4つの領域

【対象】小・中学生・高校生を中心に、実技体験と発表会を実施。

【会場】都内8か所で稽古を実施(予定)

【参加者募集】募集の詳細については、決まり次第、改めてお知らせします。

伝統芸能公演

三弦 海を越えて アジアから日本へ (仮)

アジアに広がる三弦 - 光彩陸離、三筋の弦が奏でる響きの世界

日本の伝統楽器では、三味線、箏、胡弓など弦楽器が幅広く用いられており、重要な役割を果たしています。そこで、今年度の東京発・伝統 WA 感動メイン公演ではアジアの三弦を取り上げ、その広がりと魅力に迫ります。

中近東に端を発しアジアにもたらされた三弦は琉球では三線となり、それが永禄年間(1558-1570)堺に到達し、その後、様々な工夫・改良が施されて日本において三味線として成立し、幅広い三味線音楽と楽器の成熟をみせました。近世を通じ非常に広範な発展をみせ、義太夫節、長唄等の劇場音楽をはじめとして現代の津軽三味線に至るまで、今日の日本音楽を支える一大潮流となっています。

本公演では、アジアの三弦と、日本における多様な展開・あり方を見据え、様々なジャンルを紹介し、“三味線のいま”を表す公演を目指します。

【開催日時】平成 24 年 10 月 11 日(木)、午後 6 時開演(予定)

【会場】東京芸術劇場 コンサートホール

解説と実演で知る < 日本舞踊と邦楽の世界 > (仮)

江戸時代以来、歌舞伎を中心に様々な要素を取り入れて展開してきた日本舞踊と邦楽。知れば知るほど奥深く、楽しいエンターテインメントであるものの、接する機会が減った現代では馴染みづらい印象をもたれてしまっています。

そこで、この「解説と実演で知る < 日本舞踊と邦楽の世界 > (仮)」では、舞踊・邦楽界の第一線で活躍する演者の解説と、実演の鑑賞や体験コーナー等を通じて、気軽にその魅力にふれていただけます。

坂東三津五郎 歌舞伎でわかる江戸の粋

江戸歌舞伎の初代三津五郎から脈々と 250 年、
当代の十代目三津五郎が伝える「江戸の粋」

【開催日】平成 24 年 7 月 3 日(火)

【会場】江戸東京博物館ホール

【出演】坂東三津五郎、山川静夫

坂東三津五郎がひもとく“日本舞踊”

日本舞踊を楽しむ秘訣をたっぷり披露。坂東三津五郎が教える舞踊のツボ

【開催日】平成 24 年 7 月 21 日(土)

【会場】江戸東京博物館ホール

【出演】坂東三津五郎、若手歌舞伎俳優陣、清元連中 ほか

はじめての邦楽 江戸の響きを体感しよう! (仮)

聴いて、唄って、語って、弾いて 楽しさいろいろ、邦楽の世界

【開催日】平成 24 年 11 月 4 日(日)

【会場】江戸東京博物館ホール

大江戸寄席と花街のおどり Part2 (仮)

名人芸が再現する花のお江戸の町並みや暮らし。町人文化の“粋”なひとときを味わおう

『大江戸寄席』では、「江戸」をテーマに古典落語を披露。名演にご期待ください。また、『花街のおどり』と銘打って、お座敷に伝わる華やかなおどりを特別に舞台上で披露します。触れる機会の少ない花街のお座敷の雰囲気をお楽しみいただきます。

【開催日】平成24年8月19日(日)

【会場】有楽町朝日ホール

【出演】新橋芸妓衆、赤坂芸妓衆 ほか

和の魅力発見シリーズ

「Traditional + (トラディショナル プラス)」…和を「知る、聴く、遊ぶ」

伝統芸能・文化を取り上げたアニメーションや漫画、また日本の伝統楽器を取り入れた現代音楽などが最近若者を中心に注目されています。このように伝統芸能は、多くのアーティストやクリエイターに作品創造のインスピレーションをもたらしています。

本公演では、これらの作品を取り上げ、その背景にある伝統芸能の魅力についてのトークと演奏家等によるライブ、さらにワークショップなども行い、伝統芸能にあまり縁のない若者世代や古典芸能ファンではない観客に間口を広げ、現代に息づく新しい伝統芸能の魅力と出会う場を提供します。

現代に生きる日本の伝統楽器 - トークと実演

多彩な活動を展開する日本の伝統楽器演奏家によるトーク・ライブ演奏 等

【開催日】平成24年9月9日(日)

【会場】スパイラルホール

LIVE アニメーションと浪曲 - 映画上映、トークと実演

アニメーション「頭山」の山村浩二監督と、同作品でナレーションと演奏を披露した浪曲師国本武春によるトーク・ライブ演奏 等

【開催日】平成24年10月23日(火)

【会場】東京都写真美術館1階ホール

「百人一首」に遊ぶ - ワークショップ

声に出して詠む歌として、また、競技かるたとしての「百人一首」の魅力に触れるワークショップ

【開催日】平成25年1月中旬開催予定

【会場】スパイラルホール

国立劇場5月舞踊公演 菅原草紙 舞踊「菅原伝授手習鑑(すがわらでんじゅてならいかみ)」

二代花柳壽輔による 花柳舞踊研究会 名作の復活

日本舞踊に新しい流れを作り出した二代花柳壽輔による 花柳舞踊研究会 において昭和15年に初演された「菅原草紙」を復活上演します。本作品は、歌舞伎、文楽で著名な古典演劇の三大名作のひとつ「菅原伝授手習鑑」を全10幕の舞踊劇にしたものです。

【開催日】平成24年5月25日(金)・5月26日(土)

【会場】国立劇場大劇場

【出演】花柳壽輔 ほか

芸の真髄シリーズ 第6回 江戸ゆかりの家の芸

見巧者から初心者まで。古典芸能ファンを「本物の芸」で酔わせる

「本物に酔う」をコンセプトに古典芸能の至芸を味わう“芸の真髄”。

本公演では、「江戸ゆかりの家の芸」と題し、歌舞伎俳優で坂東流の家元、踊りの名手として知られる十代目坂東三津五郎を中心に、「江戸の粋」ともいえる軽妙・高雅な芸を堪能することができます。

坂東流は、江戸歌舞伎きっての踊りの名手である三代目三津五郎に始まる古い伝統につちかわれ、中興の祖といわれる七代目三津五郎の出現、新しい感性と優れた技術を兼ね備えた当代十代目三津五郎へと引き継がれてきました。

十代目坂東三津五郎が「お家の芸」ともいえる歴代の三津五郎が得意とした演目で江戸の歌舞伎舞踊の芸の真髄を披露します。相手役は、いま最も美しい女形といわれる五代目尾上菊之助ほか地方陣にも一流を配しました。

【開催日】平成24年8月22日(水)

【会場】国立劇場大劇場

【出演】坂東三津五郎、尾上菊之助 ほか

民俗芸能「第13回多摩川流域郷土芸能フェスティバル」

多摩川が結ぶ、ふるさと芸能

豊かな自然の恵みによって人々の生活を支え続けてきた多摩川。その流域では、独自の芸能文化も同時に育まれてきました。ふるさと意識の高揚、多摩川への愛着を高めることを目的に、多摩川流域に根付いている郷土芸能が一堂に会する公演を行います。普段なかなか触れることの出来ない多摩川流域芸能の競演を、ぜひお楽しみ下さい。

【開催日】平成24年12月2日(日)13時開演(12時半開場)予定

【会場】狛江エコルマホール

【出演】多摩川流域の郷土芸能団体

東京大茶会

おもてなしの精神をじっくりと学ぶひととき

茶道に馴染みのない方や海外の方々にお茶の文化とそれを育んできた江戸・東京の文化を紹介することを目的として、大規模な茶会を開催します。茶道は、景色・道具・作法などすべてにおいて究極の美を追求した総合芸術です。独特の哲学の根底には、おもてなしの精神があります。様々な流派が一堂に会して茶を点てる「東京大茶会」は、まさにその精神を知る好機です。江戸東京たてももの園と浜離宮恩賜庭園という風情あふれる場所で、ぜひ、奥深い茶の湯の世界を味わってみてください。

【開催日・会場】

平成 24 年 10 月 7 日(日)・8 日(月・祝) : 江戸東京たてももの園

平成 24 年 10 月 13 日(土)・14 日(日) : 浜離宮恩賜庭園